

健康長寿社会とスポーツ・健康づくりについて

全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、健康及び福祉に関する積極的かつ総合的な普及啓発活動の展開を通じ、高齢者を中心とする国民の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力のある長寿社会の形成に寄与することを目的としている。

この「ねんりんピック」が、令和10年（2028年）に東京で開催され、中野区では、「パドルテニス」と「カラオケ」が開催されることとなっている。区では、この大会の開催が、高齢者を中心とした区民の心身の健康について見直す契機となり、人と人とのつながりのさらなる創出につなげていくために、準備を進めている。

1 概要

資料3-2 「第39回 全国健康福祉祭 東京大会ねんりんピックChōjū東京2028 基本構想」のとおり

2 区市町村運営組織の役割

(1) 必須事業

① スポーツ・ふれあいスポーツ・文化交流大会

（中野区：ふれあいスポーツ交流大会「パドルテニス」、文化交流大会「カラオケ」
競技実施、表彰式等

② 健康づくり教室

大会会場に併設、体力測定、健康づくりの指導・啓発等

(2) 任意事業

① 区市町村独自（おもてなし）イベント

② 気運醸成、準備事業

3 ご議論いただきたい事項

(1) 区内での大会開催を中野区における健康長寿社会形成・推進の大きな契機としていくための基本的な考え方や、目指すべき健康長寿社会のあり方について

(2) 地域の様々な主体の参画のもと、子どもから高齢者まで幅広い世代が交わることでつながりを実感できる大会にしていくために、参画を求めていく主体について

（先行開催自治体の例：スポーツ、医療、経済、地域、教育関係者等）

(3) 大会開催までの気運醸成の方策、考え方について